

図表 1 「コーポレート・ガバナンス白書」分析対象社数の推移



作成基準日	2011年版 2010年9月10日	2013年版 2012年9月10日	2015年版 2014年7月14日	2017年版 2016年7月14日	2019年版 2018年7月13日	2021年版 2020年8月14日
市場第一部	1,669	1,680	1,814	1,956	2,098	2,172
市場第二部	443	419	545	539	511	480
マザーズ	182	176	194	239	256	326
JASDAQ			861	773	729	699
合計	2,294	2,275	3,414	3,507	3,594	3,677

+74社(鞍替え多数)

+70社
(IPOなら120社)

【IPOの目線】

- マザーズ上場が平均60社/年。2年で120社増加するはずだけど2019年→2021年では70社と約半分。マザーズ上場後すぐに**東証一部への鞍替えしているんだ**。(業績面もそうだが、Ⅱの部作れるくらいになるんだ)
- 今後の東証再編で**プライム市場に残れる会社は少なくなるから資本政策や上場時期も慎重に考える必要があるな**。

【IRの目線】

- 上場している会社だけでも4,000社弱あるから投資家からすると**「買う理由」**がないと買わない。
- 一つの棚に4,000種類も陳列されてる商品は中々ないからこそ、**PRと同様にIRに力を入れて**やらないと**「選ばれない」**な。

